

2025年2月12日

各位

会社名 株式会社青山財産ネットワークス
代表者名 代表取締役社長 蓮見 正純
(コード番号 8929 東証スタンダード)
問合せ先 コーポレートファイナンス本部
財務部 部長 石川 精一
(TEL 03-6439-5800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年2月9日に公表しました2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	3,500	3,400	2,240	92.06
今回修正予想(B)	45,618	3,506	3,480	2,428	100.03
増減額(B-A)	7,618	6	80	188	—
増減率(%)	20.0	0.2	2.4	8.4	—
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	36,098	3,265	3,359	2,062	84.81

2. 修正の理由

2024年2月9日に公表いたしました2024年12月期通期連結業績予想では、38,000百万円の売上を見込んでおりましたが、45,618百万円と当初予想を20.0%上回る見込みとなります。

売上高の詳細及び各段階利益の修正理由については以下の通りです。

(1) 財産コンサルティング

財産コンサルティングの売上は、金融機関との連携の強化により、お客様数が堅調に推移していること、M&Aのコンサルティングが堅調に推移したことから8,000百万円の計画に対して8,121百万円と計画通りの見込みとなります。

(2) 不動産取引

不動産取引の売上は、お客様の旺盛なニーズに支えられているADVANTAGE CLUBの組成が当初計画を上回ったこと、また、資本効率の改善のため資本コストを下回る保有不動産を売却したことなどにより、30,000百万円の計画に対して37,496百万円と計画を大幅に上回る見込みとなります。

一方、不動産取引利益率はADVANTAGE CLUB用の不動産マーケットの過熱により取得価額が高騰していることから当初計画の利益率を下回っております。

売上高は増加しているものの不動産取引利益率が低下したことにより不動産取引の粗利は概ね計画通りの見込みとなります。



(3) 各段階利益

営業利益については、売上総利益および販管費ともに概ね計画通りに推移したことから当初計画に対して6百万円増の見込みとなります。

経常利益については、為替差益の発生や保有不動産の売却に伴い有利子負債を返済し金融費用が減少したことなどから当初計画に対して80百万円増の見込みとなります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の増加に加え、繰延税金資産の増加や貸上げ促進税制の適用による税額控除などにより、当初計画に対して188百万円増の見込みとなります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。今後、公表すべき事象が生じましたら、速やかに公表いたします。

以 上